

記録

講演

「基調講演：ライフログとデジタルミュージアム」

廣瀬通孝（東京大学大学院教授）

「思い出はどこに行くのか？」

ソウルスタイルから10年経って」

佐藤浩司（国立民族学博物館民族社会研究部准教授）

「語り・技術伝承のためのアーカイブについて」

檜山敦（東京大学大学院特任助教）

「残す思い出、残さない思い出」

加藤ゆうこ（CDI 主任研究員）

「9年間保存したタイムカプセルでわかったこと」

記録と思い出シンポジウム実行委員会

全体討論

「思い出は『語り』だけで充分なのか？」

講演者、参加者による

参加費：1000円（記録集・発送費含む）

と



NOV. 18

2003
→
2012

思い出

シンポジウム

『タイムカプセル』を手がかりとして

2012年11月18日(日) 13:00~17:30 成城大学 3号館 321 教室

<http://www.tokinokikai.jp/symposium/> e-mail: entree@tokinokikai.jp

主催：記録と思い出シンポジウム実行委員会 協賛：日本バーチャルリアリティ学会・日本認知科学会